

図書ニュース

2011/2/15
大和川高校図書委員会発行

こんにちは。寒さも少しはマシになってきました。本年度も残すところあと僅か。進級して来年度を迎えるためには期末試験が残っています。図書室なら静かに勉強することができますよ。

短歌コンクール入選

同志社女子大学が主催する、「SEITO 百人一首」第9回短歌コンクールに3年生の有本君と判田さんが、応募総数 29783 首（内訳：日本語短歌 28980 首、英語短歌 803 首）の中から入選し、りっぱな賞状が届きました（下図）。

おめでとうございます。

トビラから出て行った親追ひ求め開
かぬトビラに残った手跡（有本君）

待ち合わせ浴衣姿で神社前いつもと違う
私に惚れろ（判田さん）



この作者が面白い！

本を読みたいけど読みたい本がない。
そんな時この作者の本がオススメです！

乙一さんや京極夏彦さんの本はミステリアスな本が好きな人におすすめです

他にも小野ふゆみさんやダイアナ・ウィン・ジョーンズさんなどの本もオススメです。

どの作者もこの学校の図書館に本が置いてあるので、興味のある方は是非読んでみてください。（西本）

これからの予定

- 2/16（水）人権映画鑑賞
- 2/23（水）～25（金）入学者選抜による休業
- 2/28（月）～3/4（金）期末考査
- 3/7（月）卒業式
- 3/15（火）終業式

僕のおススメ

今月の僕のおススメは石田衣良さんの「ブルータワー」です。

この作品は、脳腫瘍末期で余生短い主人公が、頭痛が原因で未来に精神が飛ばされてしまう。その未来では凶悪なウイルスが蔓延し、人々は高い塔に集まって暮らしながら、紛争やウイルスに怯え生活していた。現代と未来を行き来し未来を救うことができるのは主人公だけ。その主人公のまわりをとりまく人々のあたたかさに感動し、逃れられない運命に打ちひがれるしかない悲しさ。究極の状況におかれ小さな希望だけを頼りに命を捨てる覚悟を決めた人々のお話です。（岩田）



編集後記

今月も執筆しました藤井です。今月の僕のおススメは、岩田君と西本さんが書いてくれましたので、楽に編集することができました。